

会派の意見

6月定例会を振り返って

自由民主党・中道の会

都市公園条例の一部改正

執行部は、営業休止中の「国民宿舎桂浜荘」について、本市が施設の所有権を有したまま、施設のリノベーションや管理運営を民間事業者が担う「Park-PPF」を活用する方針を示しており、それを進めるため、今回の条例改正で公募対象公園施設設置等予定者選定委員会の設置や使用料の最低額を設定した。使用料の最低額が「安過ぎる」と強く指摘したところ、執行部からは「公募で示す使用料の下限額や収益の還元方策は今後決定する」と説明があった。私どもは本事業の今後の動向をしっかり監視してまいります。

ホームタウンチーム活動推進事業

今期JFLで首位を走る「高知ユナイテッド・スポーツクラブ」を側面から支援するため、企業版ふるさと納税を財源として、同サッカーチームが行う生涯スポーツ

・地域スポーツの振興を図る事業の費用を補助するもので、スポーツ観光を推進する私どもとしても大いに歓迎するものです。同サッカーチームのJFL優勝とその先にあるJ3昇格に向け、市民の皆様と共に熱く応援してまいります。

オーテピア西敷地整備事業

桑名市長が提案理由説明で語った「本格的な利活用をするまでの当面の間、多目的に利用できる広場を整備したい」、「将来的には高度利用の可能性も含め広場以外の利活用も検討する必要がある」とのご認識については、現時点において「了」とし、補正予算案に賛成しました。

市民クラブ

高知市に初の女性副市長が誕生しました。女性の視点を生かした新たな風が期待されています。

今後の高齢化社会を見据え、公共交通の維持は最優先課題です。しかし、慢性的な運転手不足により、路線や便数の減少が危機的状況に至っています。この危機感が高知市には欠如していると指摘。人口減少対策として、市長はプロジェクトチームを設置し、若年層の増加と人口構造の転換を早急に図ると答弁。また、中小企業・

小規模企業の振興戦略プランを実施し、若者の地元就労促進のための奨学金返済支援に「上乘せ支援」を行うと表明しました。

農業基本計画では、重点施策の「耕畜連携」を推進。堆肥化促進により環境負荷と生産コストを低減し、環境と調和のとれた農業を実現すると、農林水産部長が答弁しました。

日本共産党

西敷地の整備予算で

芝生など緑のスペースを

オーテピア西敷地の広場としての暫定整備について、部分的な緑地の確保などを強く求め、高層ビル建設計画にストップをかけた補正予算に賛成しました。

休館している桂浜荘の今後について、公募による運営予定者の選定に必要な都市公園条例の改正案に賛成しました。今後の事業者公募については、これまでの運営に20億円もの税金を投入してきた苦い経験を教訓に、現施設の所有権を市から民間へ移転した上で選定を提案しました。

市の財源確保面からも、自治体の情報システムを国の方針で変更する経費について、国に財政負担を求める意見書を提出しました。

公明党

オーテピア西敷地整備事業

6月定例会で「オーテピア西敷地」について、本格的な利活用をするまでの当面の間、イベント等を開催できるように、また市民が憩いくつろげるスペースとして整備されますが、暑さ対策として遮熱塗料によるカラー舗装や、パラソル・ベンチ設置など、整備のための補正予算が組まれました。当面の間という曖昧な表現について、期間を明確にしてはどうかとの質問に市長は「将来的にどのような活用方法になるのか決まっていない現段階で、期間は答えられない」とのことでした。

いずれにしても、中心市街地の一等地の利活用について、多くの市民ニーズにマッチした今後の整備を見守りたい。

参政党

今国会で国の自治体への指示権を創設する地方自治法が成立しました。これを巡っての意見書が提出され議論がありました。本来対等であるはずの地方自治権が脅かされる可能性があります。秋からコロナワクチン接種が始まりますが、リスクも気になるところです。